

パージェタ+ハーセプチン+ハラヴェン療法

点滴のスケジュール

症状や経過に合わせて
お休み期間は変わります。

外観	お薬名	点滴時間	薬の効果	1日目	8日目	9~21日目
	パージェタ (成分名:ペルツズマブ)	初回 60分 2回目~ 30分	がん細胞の 増殖を抑えます	○		お休み
	ハーセプチン (成分名:トラスツズマブ)	初回 90分 2回目~ 30分		○		
	デキサメタゾン	10分	抗がん剤による 吐き気を 抑えます	○	○	
	ハラヴェン (成分名:エリブリン)	5分	がん細胞の増殖 を抑えます	○	○	

この治療は1コース21日を繰り返します

点滴中の注意

- 点滴開始後に息苦しさ、顔のほてり、吐き気・気分不快などの症状があらわれた場合は我慢せずに医療スタッフまで申し出てください。
- 点滴部位に強い痛みや腫れ、かゆみを感じた場合は早めに医療スタッフまでお知らせください。

起こりやすい副作用の発現時期と対処



食欲不振・吐き気、おう吐

- 抗がん剤を投与した日から1週間後ごろまで、食欲が落ちたり、吐き気やおう吐といった症状が見られることがあります。
- 無理せずに、食べやすいものを食べられる量から摂るようにしましょう。

下痢

- 投与後約3～4日ごろから、下痢や水っぽい便が出る場合があります。
- 脱水予防のためスポーツドリンクなど塩分を含んだ飲料水で水分補給を行って下さい。
- 薬で症状を和らげることもできます。症状が現れたら、医師・看護師・薬剤師に相談して下さい。

骨髄抑制

- 抗がん剤投与から1～2週間後に白血球が減少することがあります。
- 白血球が減ると体の抵抗力が弱くなり感染症にかかりやすくなります。
- 感染予防のために、外出の際は人ごみをさけ、手洗い・うがいをこまめに行いましょう。

しびれ

- 投与開始1ヶ月ごろから、手足のしびれや痛み、感覚が鈍くなる、力が入らないなどの症状が現れることがあります。
- 抗がん剤投与回数が増すとしびれが強くなったり長く続く傾向があります。
- 箸が持ちにくい、ボタンがかけづらい、つまづきやすいなど日常生活に影響がある場合はご相談下さい。

口内炎

- 抗がん剤投与後1週間ごろから口の中が傷んだり、腫れることがあります。
- 食後は柔らかい歯ブラシで優しく歯磨きをしてください。
- 口の中を清潔に保つため、うがいをこまめに行ってください。

脱毛

- 個人差はありますが、抗がん剤投与後2～3週間後ごろから髪の毛が抜けやすくなります。

心臓への影響

- ハーセプチン・パージェタの副作用で心臓がドキドキしたり、息苦しくなったり、からだがむくむことがあります。
- こんな症状があらわれたら、連絡してください。
 - ✓ 平らな道を歩いただけでも、心臓がドキドキする。
 - ✓ あおむけでは息が苦しい
(上半身を起こした姿勢にすると楽になる)

疲労感

- 「だるい」・「からだが重い」・「疲れやすい」と感じることがあります。
- 疲れたなと思ったときは、無理せず、ちょっと横になるなど、休息をこまめにとるとよいでしょう。



このような症状が現れたら、必ずご連絡ください

- 38度以上の発熱があるとき
- 乾いた咳が続く、または息切れを感じる時
- 1日の半分以上を寝てすごすほどのだるさがあるとき
- 吐き気止めの薬を内服していても、1日6回以上の嘔吐、または水分をとれないほどの吐き気があるとき
- 1日7回以上の下痢があるとき
- 点滴した部位が赤く腫れてきた、痛みや熱感がある
- 皮膚に発疹やじんましんが出てきた



病院へ電話する前に確認しましょう

- ①診察券番号
- ②おかけの診療科
- ③主治医の名前
- ④抗がん剤治療中であること
- ⑤気になる症状（具体的に）

連絡先

横浜市立大学附属病院

電話：045（787）2800（代表）

《平日8:30～17:00》

おかけの診療科外来を

伝えてください

《平日の夜間および休日》

救急外来と伝えてください

※ここに診察券の内容を写しましょう

□	□	□	-	□	□	□	-	□
---	---	---	---	---	---	---	---	---

お名前

